

ふくしまの
「2050年カーボンニュートラル」と
「再生可能エネルギー先駆けの地」の
実現を目指して

第11回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア

REEF

リーフふくしま
2022

ふくしま
ZERO
CARBON
DAY! 2022

会期

2022/10/13^木・14^金・15^土

時間

10:00～17:00(最終日は16:00まで)

開催場所

ビッグパレットふくしま

福島県郡山市南二丁目52番地

開催報告書

主催

福島県

(公財)福島県産業振興センター

地球にやさしい“ふくしま”県民会議

共催

環境省

はじめに

令和4年10月13日・14日・15日の3日間にわたり、福島県郡山市の「ビッグパレットふくしま」において、「第11回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIFふくしま2022)×ふくしまゼロカーボンDAY! 2022」を開催しました。

「第11回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIFふくしま2022)×ふくしまゼロカーボンDAY! 2022」は、本県が目指す「2050年カーボンニュートラル」と「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現に向けて、地球温暖化対策や環境負荷低減に関する意識の醸成と理解の促進を図るとともに、再エネ・省エネ等関連ビジネスの活性化を後押しし、経済と環境の好循環へとつなげていくことを目的に開催いたしました。

福島県内はもとより、全国、さらに海外からドイツなど3カ国の参加も含め、192の企業・団体に御出展をいただき、6,512名の皆様に御来場いただきました。

3日間を通じ、環境とエネルギーの最先端技術・製品の展示やプレゼンテーション、再生可能エネルギー関連の多くの講演・セミナーを開催するとともに、活発なビジネスマッチングが展開されました。また、地球温暖化対策に関する理解を深めていただくための各種講演やステージイベント、幅広い年代で楽しみながら学ぶことのできる体験プログラムやワークショップ等が実施され、県内外の来場者に、カーボンニュートラルの実現に向けた様々な取組に触れていただきました。

今後も再生可能エネルギーの導入拡大と関連産業の集積を促進するとともに、2050年までの脱炭素社会の実現に向けて県民・事業者・行政等のあらゆる主体が一体となった「オール福島」での取組を推進してまいります。

最後に、御来場いただいた多くの皆様をはじめ、御出展いただいた皆様、さらには、「REIFふくしま2022×ふくしまゼロカーボンDAY! 2022」の開催に当たり御支援、御協力いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。



開催概要

名 称	第11回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIF ふくしま2022)× ふくしまゼロカーボンDAY！2022
	※「REIF(リーフ)」は、Renewable Energy Industrial Fair(再生可能エネルギー産業フェア)の頭文字です。
開催趣旨	環境とエネルギー関連産業でビジネスに取り組む企業・団体の皆様に技術・情報の発信及び商談・交流・産学官連携の場を提供するとともに、「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現に向けた強い意志を国内外に発信する。また、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指し、地球温暖化対策への関心を高め、県民・事業者・行政等のあらゆる主体が一体となった「オール福島」での取組を推進する。
会 期	2022年10月13日(木)・14日(金)・15日(土) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)
会 場	ビッグパレットふくしま (福島県郡山市南二丁目52番地)
主 催	福島県、(公財)福島県産業振興センター、地球にやさしい“ふくしま”県民会議
共 催	環境省
後 援	復興庁、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国立研究開発法人科学技術振興機構、国立研究開発法人産業技術総合研究所、ジェトロ福島、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、株式会社日本政策金融公庫福島支店、公益財団法人全国中小企業振興機関協会、一般財団法人省エネルギーセンター、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人太陽光発電協会、一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会、一般社団法人水素エネルギー協会(HESS)、太陽光発電技術研究組合、一般社団法人日本電設工業協会、一般社団法人東北経済連合会、一般社団法人福島県発明協会、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島県電子機械工業会、福島県中小企業家同友会、日本大学工学部、独立行政法人国立高等専門学校機構福島工業高等専門学校、日本経済新聞社福島支局、日刊工業新聞社福島支局、株式会社東邦銀行、福島銀行株式会社、株式会社大東銀行、国立大学法人福島大学、公立大学法人会津大学、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、公益財団法人郡山コンベンションビューロー

本イベントの環境配慮・地球温暖化対策の取組

※本イベントは、福島県より「ふくしまエコイベント」に認定されました。



グリーン電力使用に向けた取組

本イベントで使用した電気は福島県内で発電されたグリーン電力を利用しました。

発電電力量:5,100kWh



カーボン・オフセット への取組

イベント関係者の移動によって発生した温室効果ガスは、福島県内で創出されたクレジットを活用してカーボン・オフセットを実施しました。

CO₂無効化量:33,000kg-CO₂

オープニングセレモニー

日 時 10月13日(木) 9:50 ~ 10:00

会期初日の展示ホール開場に先立ち、内堀雅雄福島県知事からの挨拶(代理:井出孝利福島県副知事)、関係者によるテープカットが華々しく行われました。



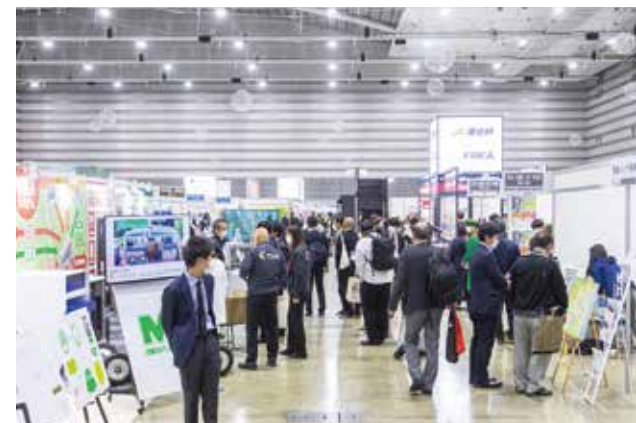
東北最大級の環境・エネルギーイベント
「REIFふくしま2022×ふくしまゼロカーボンDAY!2022」開催概要



オール福島で“2050年カーボンニュートラル”“再エネ先駆けの地”の実現に向けた取組を加速！

出展192企業団体、6,512名来場！

10月13日(木) 1,789人 / 10月14日(金) 1,733人 / 10月15日(土) 2,990人



再エネ産業の集積・拡大に向けたビジネスマッチングや、カーボンニュートラル実現に向けた各種プログラムが繰り広げられました。

出展者一覧

(分野別・50音順) ※出展者・団体数には、共同出展する企業・団体も含まれております。

太陽光・太陽熱	
A-1	株式会社新潟テクノ 太陽光パネルを利用した発電蓄電機
A-2	ヒラソル・エナジー株式会社 「ぶらマネ」太陽光の性能診断と発電量再生
A-3	竹内マネージメント株式会社/緑水工業株式会社 AI+バイオの融合でパネル洗浄の新時代へ
A-4	廃ガラスリサイクル事業協同組合 太陽光パネル リサイクル処理品
A-5	株式会社ラプラス・システム 自家消費制御システムを中心に幅広くご紹介
A-6	パンプージャパン株式会社 会津支社 屋根置き太陽光およびソーラーカーポート
A-7	一般社団法人日本太陽光発電検査技術協会 太陽光発電設備の適正なメンテナンス
A-8	日本カーネルシステム株式会社 いっぺん使ってくんちえ!PVアナライザ!
A-9	福島発電株式会社 再生可能エネルギー事業による地域経済社会への貢献
A-10	モバイルソリューション株式会社 脱炭素化と循環型社会の実現
A-11	株式会社エコ東日本 変換効率17.5%・厚さ2mmのCIGSソーラーパネル
A-12	東亜道路工業株式会社 福島営業所 太陽光発電舗装パッケージ
A-13	スワロー工業株式会社 屋根上及び壁面用の太陽光架台
風力	
B-1	いわきウィンドバレー推進協議会 いわきウィンドバレー・プロジェクトの推進
B-2	SDGsビジネス研究会 (公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会) いわき地域中小企業等のSDGs・脱炭素の推進
B-3	株式会社ニチボウ 電源不要の消火設備
B-4	福島ドローンスクール ドローン点検活用と人材育成の取り組みについて
B-5	株式会社朝日ラバー 風車ブレード向けシリコンゴム製デバイス
B-6	JR東日本エネルギー開発株式会社 JR東日本グループの再生エネルギー推進
B-7	株式会社インテック ブレードレスキューゴンドラのご紹介
B-8	株式会社誠電社 風車ギヤオイルポンプ圧送システム搭載車
B-9	ふくしま風力O&Mアソシエーション 風力発電専門トレーニング施設 FOMアカデミー
B-10	GE Renewable Energy, part of GE Vernova 陸上・洋上向け風力発電設備の紹介
B-11	イオスエンジニアリング&サービス株式会社 風力発電の運営・保守・点検をサポート
B-12	日本風力開発株式会社 三森峰風力発電事業、開発実績
B-13	コスモエコパワー株式会社 会津若松市内での大規模風力発電事業の取り組み
B-14	いわき風力産業推進協議会 CENTER for Wind Energy の実現に向けて
B-15	会川鉄工株式会社 風車タワーの製造
B-16	東北ネチ製造株式会社 風力タワー関連締結品の展示
B-17	株式会社富士ビー・エス 福島新エネルギー社会構想の一翼を担って ～再生エネ分野へのPC構造の適用をめざして～
B-18	株式会社福島三技協 大型風力発電機ブレード点検用ドローン展示
B-19	株式会社北拓 北拓の取り組み
バイオマス	
C-1	共栄株式会社 小型バイオガス発電設備
C-2	株式会社シーズ 木質ペレット燃料とペレットストーブ
C-3	藤田建設工業株式会社 小型木質ガス化熱電併給ユニット「E4」
C-4	Innergy Japan株式会社 低質燃料ボイラー、産業廃棄熱再利用ご提案
C-5	株式会社大和三光製作所 二酸化炭素排出ゼロの実現を目指しています!
C-6	Spanner株式会社 Spanner木質バイオマス熱電併給プラント 電気出力45kW-2MW
C-7	遠野興産株式会社 木質ペレット燃料でCo2の削減に貢献する
C-8	株式会社バイオマスレジン福島 お米でできたプラスチック「ライスレジン」
C-9	オヤマダエンジニアリング株式会社 高含水木質チップボイラー エコモス
C-10	株式会社奈良機械製作所 バイオマス原料を有効活用するための乾燥・粉砕技術のご提案
C-11	STEA (Ecoいち) 地球温暖化に具体的な対策を
C-12	薪ストーブのディーエルディー 暖かさを自分で作る! サスティナブルな火のある暮らし
地熱・地中熱・未利用熱	
D-1	東北ZEB再生エネ熱促進協議会 完全「ZEB」、ZEB Ready導入事例紹介
D-2	ゼネラルヒートポンプ工業株式会社 ヒートポンプで再生エネを有効活用!
D-3	新協地水株式会社 新協地水の脱炭素のとくみ
D-4	福島県地中熱協同組合 地中熱分野におけるエキスパート
D-5	JOGMEC 地球の熱を電気に変える! 地熱発電
D-6	奥会津地熱株式会社/福島地熱プロジェクト 広域地熱資源調査について
D-7	日本地下水開発株式会社 地下水熱で2050カーボンニュートラルに貢献
D-8	クラフトワーク株式会社 今まで見過ごしていた身近に存在する熱の利用
水力	
E-1	有限会社エイチ・エス・エレクトリック マイクロ水力、小型風力発電用パワーコンディショナー
E-2	株式会社協和コンサルタンツ 小水力発電を活用したインフラマルチバック
E-3	株式会社シーイーエム 身近な水源で発電! マイクロ水力発電
水素	
F-1	株式会社サン・フレア 再生可能エネルギー分野の翻訳エキスパート
F-2	株式会社 フジキン 超高圧水素用バルブ他各種流体制御機器
F-3	住友ゴム工業株式会社 白河工場 タイヤ製造における水素エネルギー活用
F-4	一般社団法人水素ドローン産業化推進協議会 水素ドローン産業化推進協議会のご紹介
F-5	株式会社山王 高純度水素を精製する水素透過膜のご紹介
F-6	日本精練株式会社 Pd-Cu水素分離膜モジュール、他
F-7	浪江町 水素エネルギーの最先端の町
F-8	株式会社IHJ 脱炭素に技術と叡智

F-9	株式会社鈴木商館 燃料電池フォークリフト用水素充填設備
F-10	東和工業株式会社 金属機械加工・TIG溶接はお任せください

燃料電池・蓄電池	
G-1	株式会社エナジア 完全「ZEB」、V2X防災インフラ事業紹介
G-2	古河電池株式会社 SDGsは蓄電池とともに
G-3	株式会社ソーラーボスト テスラ家庭用蓄電池POWERWALL展示
G-4	トヨタL&F福島株式会社 物流のミライ運ぶ(水素を運ぶ・使う)
G-5	株式会社東北村田製作所 蓄電池とパソコンを一体化した「蓄電池システム」のご紹介
G-6	ミライラボ埼玉株式会社 交換式バッテリーによるギズナシステム
G-7	アサヒ通信株式会社 パソコン／蓄電池用ハースAssey製品
G-8	株式会社I・D・F/東北大学未来科学技術共同研究センター 宮城県における電池の地場産業化への取組み

次世代電力マネジメント	
H-1	日本工営株式会社 エネルギーマネジメント事業の紹介
H-2	NextDrive株式会社 「そのエネルギー設備つながっていますか?」
H-3	東日本電子計測株式会社 電力系統／省エネ評価・計測ソリューション
H-4	株式会社エナジーみらい 超 省エネルギー発電システム
H-5	株式会社ACDC 電気の地産地消システム

省エネルギー	
I-1	株式会社えこでん／株式会社コンシェルジュ 輻射式冷暖房で省エネと快適性の向上を両立／ 成果報酬型の省エネコンサルティング【省エネ革命】
I-2	美和電気工業株式会社 電力監視・予兆診断・計測ソリューション
I-3	日幸電機株式会社 カーボンニュートラルに挑む2段構え!
I-4	株式会社会津コンピュータサイエンス研究所 オフグリッドタイニーハウス及びカーポート
I-5	株式会社岡野エレクトロニクス ソーラーLED灯 スマコミライト
I-6	株式会社マルエン ゼロエネルギーで省エネ!
I-7	株式会社アップルツリー カーボンフリー工場で、組立・加工お受けします。
I-8	未来工業株式会社郡山営業所 電力マネージャー

省資源・リサイクル	
J-1	株式会社ダイオーズジャパン 『リサイクル』『リユース』
J-2	六洋電気株式会社 廃プラスチックの再資源化に油化装置を!
J-3	株式会社釜屋 総合リサイクルのプロフェッショナル
J-4	株式会社会津ラポ データの見える化でSDGs・脱炭素
J-5	ムネカタ株式会社 バイオマス素材によるプラスチック高機能化

環境啓発	
K-1	福島ミドリ安全株式会社 森林吸収型リフレジットでゼロカーボン!!
K-2	RYOENG株式会社 廃棄物をエネルギーに転換、産廃コスト削減

K-3	株式会社ミライト・ワン 東北支店 次世代再生可能エネルギー創造企業
K-4	株式会社Eプラス カーボンニュートラル実現に向けて

土木・建築	
L-1	PPI PIPE株式会社 接着剤を使用しない、環境に配慮した排水管
L-2	西尾レントオール株式会社 カーボンニュートラル 電動バックホウの導入
L-3	旭洋設備工業株式会社 ブラロード工法・クロスウェーブ工法
L-4	株式会社柳沼板金店/日本防水工法開発協議会 屋根から建物の省エネを実現します。

自治体・支援機関・学校・研究機関	
M-1	スペイン・バスク州 エネルギー関係機関
M-3	ドイツ・ハンブルク州 風力・水素・再生可能エネルギー
M-4	デンマーク王国大使館 デンマークの2030グリーントランジション
M-5	ドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン(NRW)州 NRW.エナジー・フォー・クライメイト(E4C)社
M-6	福島県ハイテクプラザ 再生可能エネルギー関連分野の技術開発
M-7	一般社団法人福島県発明協会 知的財産権を経営や事業に活かしてみませんか
M-8	東京都 水素エネルギーの普及に向けた東京都の取組
M-9	経済産業省 資源エネルギー庁 福島新エネルギー社会構想の実現に向けた政策紹介
M-10	株式会社日本政策金融公庫 環境・エネルギー対策融資の紹介
M-11	国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 再生エネ導入に向けた研究及び復興支援の取組
M-12	公益財団法人福島県産業振興センターエネルギー・エージェンシー-ふくしま・再生エネ相談窓口 再生可能エネルギー先駆けの地を目指して
M-13	福島県次世代産業課 福島県の再生可能エネルギー等各種施策紹介
M-14	一般社団法人福島県再生可能エネルギー推進センター 再生エネ事業相談 住宅用太陽光補助制度ご案内
M-15	公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 私たちはものづくり企業を応援します
M-16	福島県立テクノアカデミー テクノアカデミーの取組の紹介
M-17	喜多方市 事業用地の案内、工場立地優遇制度の案内
M-18	白河地域再生可能エネルギー推進協議会 事業内容のPR

出展者プレゼンテーション

参加数 19企業・団体

(1F多目的展示ホールメインステージにて開催)

10月13日 木		
11:00-11:30	株式会社大和三光製作所	大和三光製作所の半炭化ソリューション
11:30-12:00	NextDrive株式会社	「そのエネルギー設備つながっていますか?」
12:00-12:30	ヒラソル・エナジー株式会社	100年続く太陽光発電所を目指して
12:30-13:00	東亜道路工業株式会社 福島営業所	道路空間を再生可能エネルギー発電の場へ ～太陽光発電舗装パッケージ 省エネ、CO2排出量換算低減につながる乾燥を伴う 多段粉碎技術のご紹介
13:00-13:30	株式会社奈良機械製作所	太陽電池ストリング自動点検装置～火災事故要因 自動検知・遠隔監視システムの紹介～
13:30-14:00	日本カーネルシステム株式会社	突然の災害から日々の工事まで、効率よく電力確保ができる 画期的なバッテリー運用方法「ギズナシステム」のご紹介
14:00-14:30	STEA (Ecoいち)	地球温暖化に具体的な対策を＝薪ストーブ&麻製品
15:00-15:30	株式会社ラプラス・システム	特許技術の自家消費制御システム、蓄電池とセットで 販売する蓄電池充放電制御システムをご紹介します
15:30-16:00	一般社団法人 日本太陽光発電検査技術協会	【太陽光発電の災害対策】 ～土、水、風、雪の災害経験から!!～

M-19	日本大学工学部 水素・再生エネ研究クラスター 日本大学工学部 水素・再生エネ研究クラスター
M-20	郡山女子大学 郡山女子大学のSDGs活動状況
M-21	福島市 ゼロカーボンシティの実現に向けた福島市の取り組み紹介
M-22	仙台市 仙台市の地球温暖化対策について 一脱炭素都市づくりの取り組み
M-23	みやぎ高度電子機械産業振興協議会 みやぎ高度電子機械産業振興協議会の活動紹介
M-24	茨城県次世代エネルギーパーク推進協議会 次世代エネルギーパーク in いばらき
M-25	郡山市 カーボンニュートラルシティを目指す郡山
M-26	葛尾村・葛尾創生電力株式会社 葛尾村スマートコミュニティのご紹介
M-27	福島イノベ倶楽部 福島イノベ構想における異業種交流の場
M-28	福島県警察 技術情報流出の防止に向けて

ゼロカーボンアクションゾーン

運輸

エリア: 乗り物でできること	
ZA-1	株式会社ヤナセ郡山支店(メルセデス・ベンツ郡山) 100%メルセデスの電気自動車。
ZA-2	福島日産自動車株式会社・日産プリンス福島販売 株式会社・日産自動車株式会社 電気自動車の試乗・給電デモ
ZA-3	フォロフライ株式会社 国内初ラスト1マイルEVトラックを開発
ZA-4	福島トヨタ自動車株式会社 トヨタFCV・BEV紹介
ZA-5	公益社団法人福島県トラック協会 トラック運送業界 環境に配慮した取組
ZA-6	一般社団法人日本自動車連盟 エコドライブのすすめ&子ども安全免許証
ZA-7	福島県生活交通課 バス・鉄道の利用促進

民生業務	
エリア: 学校・会社でできること	
ZB-1	特定非営利活動法人福島環境カウンセラー協会 省エネ活動推進のアドバイスや事例紹介
ZB-2	株式会社福島中央テレビ 身近な取組を応援!ふくしま未来ストーリー
ZB-3	福島県環境共生課(令和3年度福島議定書事業) 福島議定書事業表彰団体の取組事例等紹介

民生家庭	
エリア: 暮らしでできること	
ZC-1	イオン東北株式会社 イオン東北の環境面の重点課題への取り組み
ZC-2	株式会社セブン・イレブン・ジャパン サステナブルな社会の実現に向けて
ZC-3	日本郵便株式会社東北支社 日本郵便のゼロカーボンに向けた取組
ZC-4	福島県消費生活課 エンカルふくしま はじめよう!
ZC-5	福島県消費者団体連絡協議会 エンカル消費と食品ロスを考えよう!
ZC-6	株式会社リビングソーラー うちエコ診断の紹介

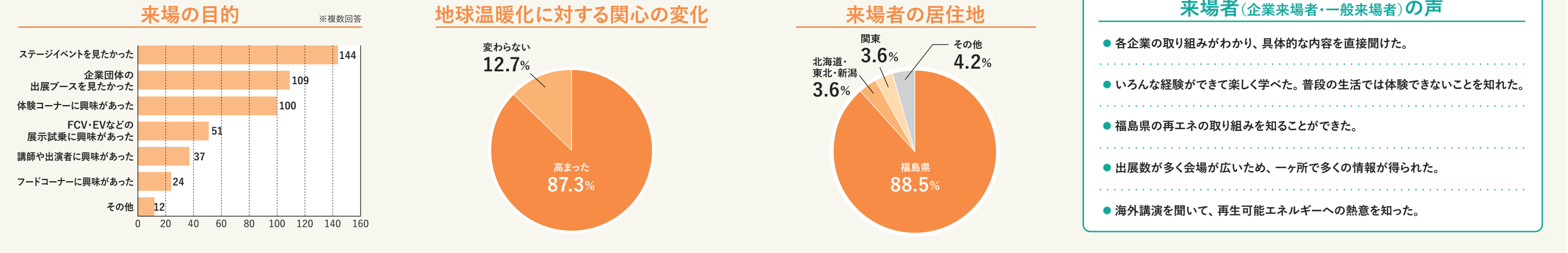
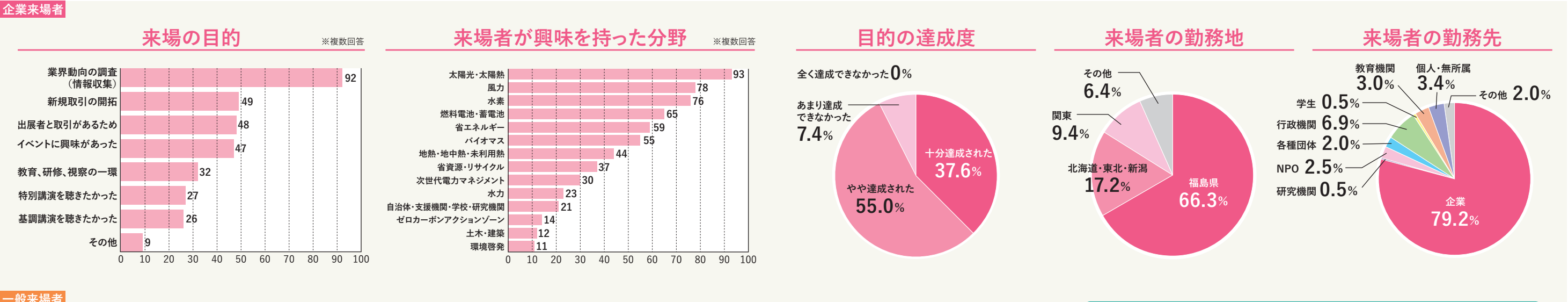
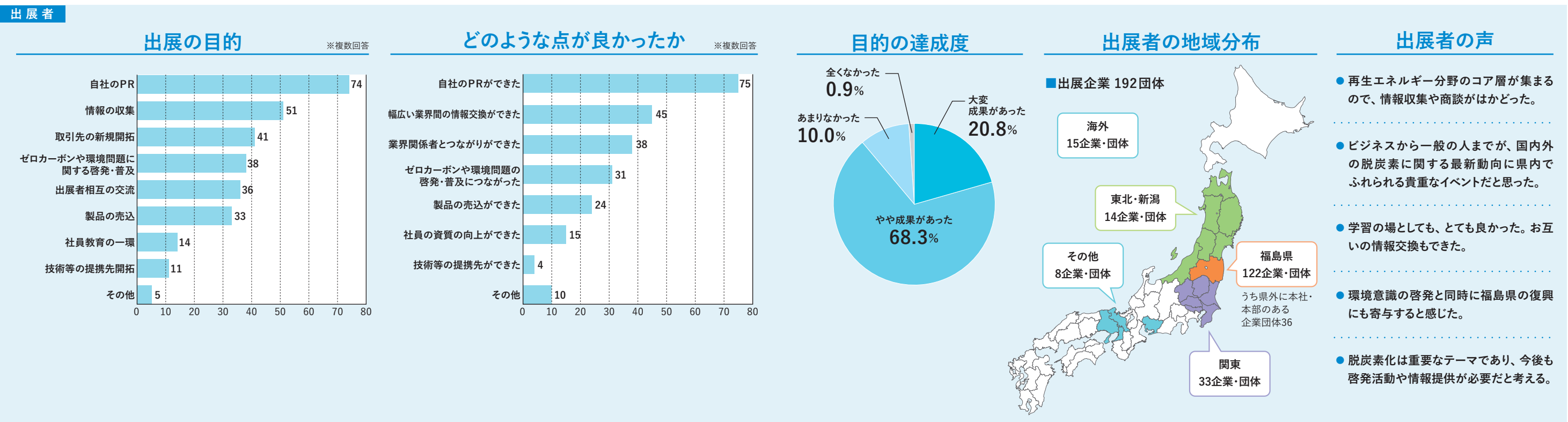
エリア: 住まいでできること	
ZD-1	株式会社LIXIL 住宅の"断熱"に関わる建材エキスパート
ZD-2	一般財団法人ふくしま建築住宅センター 住宅・建築物の省エネ評価のエキスパート
ZD-3	福島県電機商工組合 家庭から始めよう省エネ対策!
ZD-4	東北電力株式会社福島支店 東北電力グループの環境への取り組み

廃棄物	
エリア: ごみ削減でできること	
ZE-1	福島県環境共生課(エコ・リサイクル製品等) うつくしま、エコ・リサイクル製品の紹介
ZE-2	一般社団法人福島県産業資源循環協会 産業廃棄物処理業界における取組
ZE-3	福島県一般廃棄物課 ごみ減量化

適応・環境創生	
エリア: 適応・環境創生でできること	
ZF-1	気象庁 福島地方気象台 福島県の気候変動について
ZF-2	国立研究開発法人国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 地域と協働する環境研究の専門家
ZF-3	福島県「ミライ地球ガチャ」 ガチャを回して地球の未来を考えよう!

地域	
エリア: 地域でできること	
ZG-1	環境省 環境再生・資源循環局 福島再生・ 未来志向プロジェクト推進室 環境省「福島再生・未来志向プロジェクト」
ZG-2	福島県地球温暖化防止活動推進センター (特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク) 地球温暖化防止活動推進員になりませんか!

各種アンケートより



再生可能エネルギー関連ビジネスに参画するきっかけとなるビジネスマッチング、セミナー、視察ツアー等盛りだくさんのイベントが開催されました。

■ 風力ビジネスマッチング

福島県では、県内各地で国内有数の大規模風力発電プロジェクトが進展しています。建設から運用・メンテナンスまで多くの企業のビジネス参入が期待される中、風力O&M企業とのビジネスマッチング会を開催しました。

- 発注側企業
風力O&M企業3社
- マッチング参加企業
延べ12社



■ スマコミ自治体説明会

カーボンニュートラル、ゼロカーボンビジョンへの取り組みを進める県内自治体の中から、郡山市といわき市に参加していただき、スマートコミュニティ分野でビジネス展開を目指す県内企業との個別面談の場を提供しました。

- 参加自治体
郡山市
いわき市
- 参加企業
延べ9社



■ EV車試乗／FCV・EV車両展示

国内外自動車メーカーのFCV(燃料電池自動車)やEV(電気自動車)を展示。さらにEV車の試乗が実施されました。

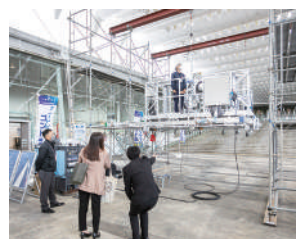
＜出展＞
イオン東北株式会社、日産自動車株式会社、フォロフライ株式会社、福島トヨタ自動車株式会社、株式会社ヤナセ郡山支店



■ 特別展示&デモンストレーション

ドローンを使った再エネ発電設備のメンテナンス、風力発電設備のメンテナンスのデモンストレーションが行われました。

＜出展＞
株式会社ACDC、株式会社インテック、株式会社誠電社



■ 海外先進企業の出展と商談

福島県では、再生可能エネルギーの先進地であるドイツ・ノルトライン＝ヴェストファーレン(NRW)州、ドイツ・ハンブルク州、スペイン・バスク州、デンマーク王国大使館と連携覚書を締結し、経済交流を進めています。今回の展示会では、2年ぶりに各地域の企業・団体が出展し、先進的な事例等のご紹介や数多くのビジネスマッチングが行われました。

ドイツ・NRW州からの出展者 (5企業・団体)



ドイツ・ハンブルク州からの出展者 (1企業・団体)



スペイン・バスク州からの出展者 (8企業・団体)



デンマーク王国からの出展者 (1企業・団体)



工業高校生を対象とした企業プレゼンテーション

日 時 10月13・14日 10:30～14:00

会 場 3F 中会議室

参 加 数 白河実業高等学校…………… 141名
郡山北工業高等学校 …… 40名
福島工業高等学校 …… 72名
塙工業高等学校 …… 16名

参加企業 株式会社大和三光製作所、住友ゴム工業株式会社白河工場、株式会社バイオマスレジン福島、GE Renewable Energy、株式会社ソーラーポスト、株式会社福島三技協、株式会社山王、株式会社ACDC



基調講演

「アフターコロナの福島復興の処方箋
～環境問題の重要性を考える～」

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科 教授 **岸 博幸** 氏

略歴

1986年、一橋大学を卒業し、通産省(現経産省)入省。資源エネルギー庁長官官房国際資源課を経て、2001年、経済財政政策担当大臣(当時)・竹中平蔵氏の大補佐官に就任。その後、有志と「官僚国家日本を変える元官僚の会(脱藩官僚の会)」を設立。



「脱藩官僚」としてテレビや雑誌等で活躍している慶應義塾大学大学院教授・岸博幸氏に「アフターコロナの福島復興の処方箋～環境問題の重要性を考える～」というテーマでご講演いただきました。講演では、なぜ再生可能エネルギーに注力すべきなのか、それがどのように地域活性化に結びつくのかといったエネルギー分野における根本的な内容をはじめ、昨今の社会情勢の変化による環境問題や経済の移り変わり、エネルギー分野での地域経済イノベーションへの期待などについてお話いただきました。



オープニングセミナー

「福島新エネ社会構想
～未来を創る新たなエネルギーの先進地へ～」

モデレーター 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会長 **服部 靖弘** 氏

①「カーボンニュートラル実現に向けた再エネ・水素政策
～福島新エネ社会構想の実現に向けて～」

経済産業省資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 政策課長 **曳野 潔** 氏

②「気候危機。脱炭素ドミノを起こしていく。」

環境省 東北地方環境事務所 地域脱炭素創生室長 **井上 直己** 氏

③「住友商事の持続可能な社会づくり～浪江町での水素の取組／
阿武隈風力発電事業と南相馬太陽光発電事業～」

住友商事株式会社 インフラ事業部門 電力インフラ第一部 部長代理

福島復興風力合同会社 代表 **平野 貴之** 氏／

エネルギーイノベーション・イニシアチブ水素事業部 第一チーム長 **近藤 真史** 氏

④「パナソニックの水素社会普及に向けた取組」

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 スマートエネルギーシステム事業部

燃料電池事業横断推進室 水素事業企画課 課長 **河村 典彦** 氏

〈受講者の声〉

- 水素の取り巻く状況が理解できた。
- 再エネ導入だけでなく、関連産業集積に県内企業がどのように取り組んでいるか情報発信してほしい。

「福島新エネ社会構想～未来を創る新たなエネルギーの先進地へ～」をテーマに、福島新エネ社会構想のもと、福島県が再生可能エネルギー先駆けの地として一層の発展を遂げるために必要な最新情報や政策動向、再エネ・水素の更なる導入拡大と社会実装の観点から、県内外での特徴的な取組事例をご紹介します。

福島再生可能エネルギーセミナー

「福島県内再エネ関連産業の更なる拡大」

1. 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会の取組

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会長 **服部 靖弘** 氏

2. 先進事例発表(4分野5社)

①風力

ゼネラル・エレクトリック・インターナショナル・インク サービス統括マネージャー **藤井 信也** 氏

一般社団法人ふくしま風力O&Mアソシエーション 事務局長 **菅野 辰典** 氏

②太陽光

パンプージャパン株式会社 エネルギーソリューション本部長兼会津支社長 **伊藤 真人** 氏

③水素

株式会社デンソー エネルギーソリューション開発担当次長 **樋口 和弘** 氏

④バイオマス

エイブルエナジー合同会社 副社長(技術)兼福島いわきバイオマス発電所長 **町野 孝司** 氏

〈受講者の声〉

- 人材創出のための施設があることを初めて知って驚いた。異業種だが、施設で学んでみたいと思った。
- 今後福島で大規模な風力、水素、バイオマス事業を行う上で設計施工のパートナーを探す必要があるのではないかと思います。

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会は、平成24年の発足以来、福島県内で再生可能エネルギー関連産業の拡大や関連産業の育成・集積に向けて積極的に取り組んできました。今回のセミナーでは、会員企業の5社から、風力、太陽光、水素、バイオマスの4分野に関する先進的な取組みについてご紹介いただきました。



服部 靖弘 氏 曳野 潔 氏 井上 直己 氏



平野 貴之 氏 近藤 真史 氏 河村 典彦 氏



藤井 信也 氏 菅野 辰典 氏 伊藤 真人 氏



樋口 和弘 氏 町野 孝司 氏

脱炭素ビジネス特別講演

「脱炭素ビジネスの展望と
レノバの再エネ・GX事業への取組」

株式会社レノバ 執行役員CSO GX本部長 永井 裕介 氏

略歴

官庁・民間に対する環境コンサルティングをはじめとする複数の事業に従事したのち、再エネ事業の開発全般を牽引。将来の柱となる事業の創出・育成を目指してグリーン分野の戦略策定を主導するとともに、新規プロジェクトの開発を統括。

日本とアジアの豊かな自然を活かし、再生可能エネルギーの発電・運転事業を展開している株式会社レノバ。同社の執行役員CSO GX本部長・永井裕介氏に、カーボンニュートラル実現に向けたソリューション事業や、太陽光・風力・バイオマス・地熱・水力等の複数の再生可能エネルギーを活用した「マルチ電源」の取組などについてご講演いただきました。


「カーボンニュートラルに向けた動向と
金融機関の取組」

株式会社三井住友銀行 サステナビリティ本部 副本部長 金子 忠裕 氏

略歴

1992年、さくら銀行(現・三井住友銀行)入行。三井住友フィナンシャルグループ企画部IR室長や欧州営業部部長を経て、2020年よりサステナブルビジネス推進室長に就任、2022年より現職。京都大学経済学部卒。米インディアナ大学経営学修士課程修了。

株式会社三井住友銀行のサステナビリティ本部副本部長・金子忠裕氏に、カーボンニュートラル実現に向け、同行が展開している取組についてご講演いただきました。水素を中心としたクリーンエネルギーへの積極的な投資、気候変動への対応や脱炭素化といった企業のサステナブルな活動を評価するファイナンス等をご紹介いただきました。



国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(FREA)セミナー

「カーボンニュートラルの実現に向けた
グリーンイノベーション(GI)基金事業とは」

①福島再生可能エネルギー研究所の概要について

国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
所長 宗像 鉄雄 氏

②GI基金事業の概要と今後の展開

経済産業省 産業技術環境局環境政策課
カーボンニュートラルプロジェクト推進室 産業技術総括調査官 田中 真悟 氏

③旭化成のグリーン水素事業戦略～水素社会実現に向けて～

旭化成株式会社 執行役員兼環境ソリューション事業本部
グリーンソリューションプロジェクト長 植竹 伸子 氏

④水電解装置評価プロジェクト

国立研究開発法人産業技術総合研究所
研究戦略企画部 カーボンニュートラル担当 次長 古谷 博秀 氏

⑤ペロブスカイト太陽電池プロジェクト

国立研究開発法人産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター
有機系太陽電池研究チーム 研究チーム長 村上 拓郎 氏

〈受講者の声〉

- GI基金の採択プロジェクトの紹介を希望する。
- REIFでこのような高い技術のセミナーを行っていることを初めて知った。



この講演では、グリーンイノベーション(GI)基金事業の概要説明をはじめ、基金を利用した事例についてご説明いただきました。旭化成株式会社からは、福島や海外での水素社会実現に向けた取組について、産業技術総合研究所からは2年目を迎えた「水電解装置評価プロジェクト」の現況や次世代太陽電池として期待される「ペロブスカイト太陽電池」についてご紹介いただきました。

国際経済交流セミナー

「欧州におけるカーボンニュートラル関連技術の最新動向
～再エネと連動した水素活用がいよいよ社会実装へ～」

～福島県の海外パートナーの紹介～

(公財)福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシー・ふくしま代表 服部 靖弘 氏

①ドイツ・NRW州

NRWエナジー・フォー・クライメイト海外連携プロジェクトマネージャー ダリオ・オメロビッチ 氏
エナプター社 ジェンス・ビショフ 氏
AHTシンガステクノロジー ゲロ・ファーゲス 氏

②ドイツ・ハンブルク州

再生可能エネルギー・ハンブルク・クラスター代表 ヤン・リスベンス 氏

③スペイン・バスク州

バスク・エネルギー・クラスター プロジェクトマネージャー マルコス・スアレス 氏
ペトロノール社 アルトロ・フェルナンデス 氏

④デンマーク王国

ステート・オブ・グリーン シニアプロジェクトマネージャー シャーロット・ギエデ 氏
デンマーク王国大使館 政治経済部 エネルギー担当官 高橋 叶 氏



海外講演では、福島県がエネルギー分野で連携を結んでいる3カ国4地域にご講演いただきました。再生可能エネルギーの積極的な導入、カーボンニュートラルに向けた先進的な取組等、エネルギー問題に対する意識が高いヨーロッパにおける水素の活用技術についてご説明いただきました。



福島県では令和3年2月に「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことを表明しました。開催3日目となる10月15日(土)には、講演やトークセッションに加え、楽しく学べる体験プログラムやワークショップといったコンテンツを通じ、脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策への関心を高め、「オール福島」での取組を推進する様々なイベントを実施いたしました。



基調講演

「今そこにある気候変動と未来のわたしたちの暮らし」

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員 **江守 正多 氏**

略歴

専門は地球温暖化の将来予測とリスク論。気候変動に関する政府間パネル第5次、第6次評価報告書主執筆者。2021年より国立環境研究所 地球システム領域副領域長。2022年より地球システム領域上級主席研究員、東京大学未来ビジョン研究センター教授。



「日本で一番気候変動の説明がわかりやすい」と自認する、東京大学未来ビジョン研究センター教授、国立環境研究所上級主席研究員・江守正多氏に、「今そこにある気候変動と未来のわたしたちの暮らし」と題し、ご講演いただきました。地球温暖化の仕組みや、気温変化の要因、CO₂排出量と濃度の変化といった基礎的な知識をはじめ、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による世界のCO₂排出量の未来予測、気候モデルによる将来の気温変化シミュレーション、さらに気候変動が要因の一部と考えられる国内外の災害の事例等を挙げ、今後の脱炭素社会の実現には、社会の仕組みや人々の常識が変わるほどの「大転換」が必要だと訴えました。

特別講演

「^{ゼロ}玄関まで0カーボンで～Z世代が国内初1トンEVトラックで挑むラストワンマイルの壁～」

フォロフライ株式会社 COO **中尾 源 氏**

略歴

2002年生まれ。経営者の家系に生まれ、高校1年生の時に、アパレル輸入販売事業を開始。高校生事業家として活動中に、現CEOの小間裕康氏と出会い、フォロフライ株式会社の創業から参画。



京都のEV(電気自動車)メーカー・フォロフライ株式会社のCOO(最高執行責任者)で現在大学2年生の中尾源氏に、1トンEVトラックを活用したラストワンマイルの脱炭素化に向けた取組についてご講演いただきました。ラストワンマイルとは、最寄りの物流拠点からエンドユーザーまでの物流サービスを指す言葉です。同社では、この配送に最適な1トントラックのEV化を国内で初めて実現し、近年拡大する配送需要の環境問題に対応しています。講演では同社の歩みや今後の展望に加え、安価な1トンEVトラックを叶えるために導入した自社製造工場を持たない「ファブレス生産」やアフターフォロー等の仕組みについてもご紹介いただきました。

トークセッション

「Road to 2050～みんなで描く、ふくしまの環境の未来～」

●ゲストスピーカー

- ・東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
国立環境研究所 地球システム領域 上級主席研究員 **江守 正多 氏**
- ・フォロフライ株式会社 COO **中尾 源 氏**
- ・郡山女子大学家政学部食物栄養学科4年 **田中 有里 さん**
- ・福島県立平工業高等学校3年 **内山 瑠美 さん** **千葉 朱莉 さん**
- ・うつくしま地球温暖化防止活動推進員 **添田 ゆかり 氏**

●ファシリテーター

福島中央テレビ **野尻 英恵** アナウンサー

福島県在住のゲストスピーカーの方々に、それぞれの立場での環境問題への取組についてご紹介いただきました。郡山女子大学の田中さんはナチュラルライフスタイル部の森林を育てる活動、平工業高校の内山さん、千葉さんはSDGs活動と地球温暖化防止への取組、うつくしま地球温暖化防止活動推進員の添田氏は推進員の活動やごみ分別の重要性等についてお話いただきました。さらに各自が福島県の環境の未来に向けてチャレンジしたいことを発表し、江守氏と中尾氏は各活動への期待を述べました。



田中 有里 さん

内山 瑠美 さん

千葉 朱莉 さん



添田 ゆかり 氏 野尻 英恵 アナウンサー

サイエンスショー

「五十嵐美樹サイエンスショー
SDGsについて楽しく学ぼう！」

サイエンスエンターテイナー 五十嵐 美樹 さん

略歴

東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。東京大学大学院情報学環客員研究員。2022年9月より東京都市大学人間科学部特任准教授。子どもから大人まで幅広い層に向けた実験教室やサイエンスショーを全国各地で主催、講師を務める。

NHK高校講座「化学基礎」等、さまざまなメディアに出演しているサイエンスエンターテイナー・五十嵐美樹さんによる、SDGsをテーマにしたサイエンスショーを開催しました。ショーでは五十嵐さんの全力でのダンスやユニークな実験、クイズ等を交えながら、地球温暖化やクリーンエネルギー等、SDGsについて楽しく、わかりやすくお伝えいただきました。



表彰式

令和4年度『ふくしまエコライフ絵はがきコンテスト』

「地球にやさしい生活」をテーマにした絵はがきを福島県内の小学生、中学生、高校生から募集し、優秀な作品を表彰する『ふくしまエコライフ絵はがきコンテスト』の表彰式を開催しました。令和4年度は、128校から3,005点の応募がありました。



🏆 最優秀賞(知事賞)……6名
🏆 最優秀賞(教育長賞)……6名

ごみ減量アイデアコンテスト

全国ワースト2位となっている福島県のごみを減らすために開催した「ごみ減量アイデアコンテスト」の表彰式を行いました。「生ごみ削減」アイデアの募集に対し、126件の応募があり、西会津町に住む多賀亮子さんの「台所にあるもので簡単ごみ減量」が最優秀賞に選出されました。ザルの上にチラシを置き、生ゴミを乾燥させて捨てるというもので、誰でもすぐに取り組める点が評価されました。



🏆 最優秀賞……1名
🏆 優秀賞……2名
🏆 奨励賞……2名
🏆 ブンケン賞……5名

地球温暖化対策に関する体験プログラムやワークショップを開催。

大勢のファミリーにご参加いただき、楽しみながら学んでいただきました。



燃料電池教室



トヨタ自動車のFCEV(燃料電池車)「MIRAI」が動く仕組みを実験キットやRCカーを使って学ぶワークショップが開催されました。



日産わくわくエコスクール
電気自動車モデルカー実験



エコカーの開発・製造に積極的な日産自動車が、新しい環境技術の体験教室を開催。手回し発電した電気モデルカーを走行させる実験が行われました。



エコカイトづくり



使い捨てずに、繰り返し使えるエコカイトづくりのワークショップが開催されました。



コミュニティ&フレンズ 出張ワークショップ

福島県環境創造センター交流棟「コミュニティ福島」など関係機関により、自然やサイエンスに触れるワークショップが開催されました。



かすみ草レジ工作
(福島県農業総合センター)



羽のストラップを作ろう!
(福島県野生生物共生センター)



水の電気分解を見てみよう
(福島県環境創造センター 研究部)



電気定食ゲーム
(コミュニティ福島)



移動昆虫館
(ムシテックワールド)



FC(燃料電池)遊具体験



水素で走る遊具が登場。使用する水素は、ペダルを漕いで発生した電力で水を電気分解して自力調達しました。親子一緒に乗車し、水素の力を体感していました。



県産木材工作

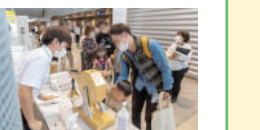
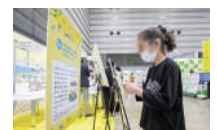


福島県の森林(もり)とふれあい、森林の役割や重要性を県民に広く伝える「もりの案内人」による、福島県産材を利用した工作教室が開催されました。



スマホで環境クイズラリー

会場内を周遊し、「福島県環境アプリ」をダウンロードして参加するクイズラリーを実施。先着500名に素敵な記念品が当たる抽選会も行いました。



ミライ地球ガチャ

協力:国立環境研究所
気候変動適応センター

ガチャを回すと出てくる、気候変動の影響を受けた地球の困ったミライ。どうしたら今の暮らしを続けられるのかなど、“自分ならどうするか?”を考えてもらいました。

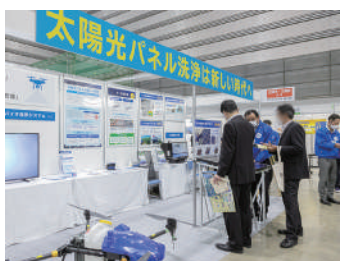
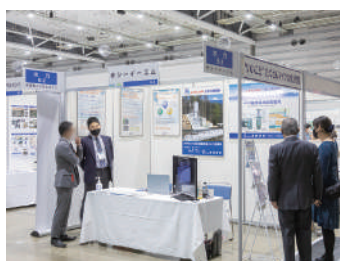
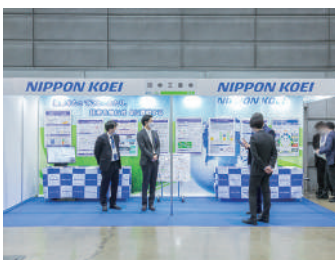
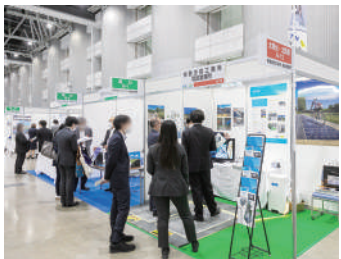
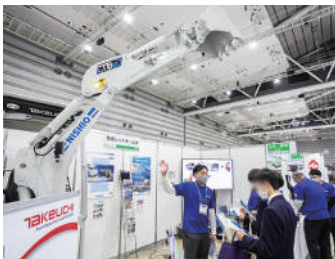
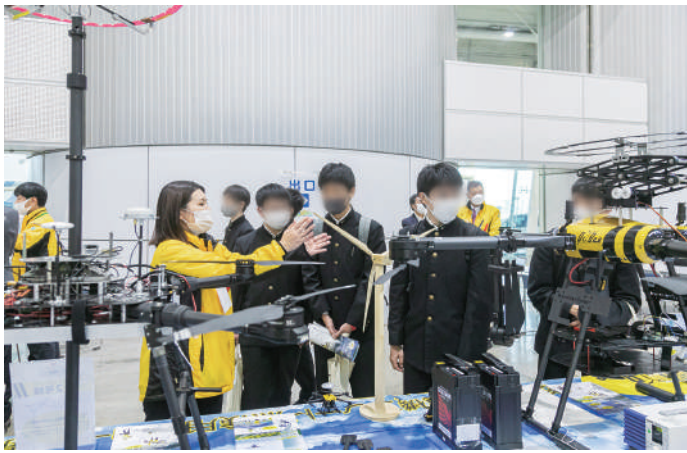


LED電球プレゼント!

白熱電球または電球型蛍光灯を1個ご持参いただいた方に、LED電球を1個プレゼントしました(1家族2個限り・150名限定)。



フォトギャラリー



プロモーション・プレスリリース活動

プロモーション活動

- ポスター、チラシ等の開催資材を出展者に無償で提供
- 産学官の連携による関係機関、官公庁、経済団体、県関係機関、市町村、学校・公共施設へポスター掲示とチラシ配布、広報誌への開催案内掲載の依頼
- 地元新聞社（福島民報・福島民友）への開催の案内

【配布数】

- 開催案内チラシ A3 サイズ2つ折り／約53,000枚
- 開催案内チラシ A4 サイズ／約125,000枚
- ポスター B2 サイズ／約3,000枚



開催案内チラシ (A3)



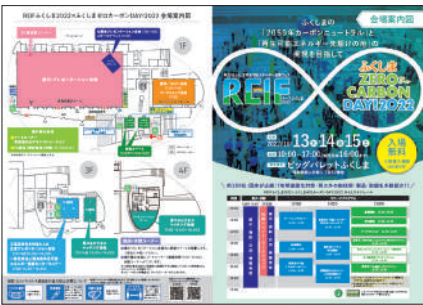
開催案内チラシ (A4)



B2 ポスター

当日配布物

- 会場案内図（日本語版・英語版）
 - 展示会・セミナー・イベント・出展団体の詳細（日本語版／英語版）



ガイドブック

ホームページ

- オフィシャルホームページ（<https://reif-zeroarbon.jp/>）
 - 開催情報、プレゼンテーションスケジュール、出展企業・団体の詳細などを随時更新。



オフィシャルホームページ

ダイレクトメール等の発信

- 関係企業・団体、過去来場企業・団体、過去来場者への来場勧誘DMを発送
- 関係団体等のメルマガによる来場促進

媒体等への広報・広告の掲載

- 福島県記者クラブへの開催案内
- 日刊工業新聞への広告掲載
- 福島民報への広告掲載
- 新エネルギー新聞への広告掲載
- 福島民友への広告掲載
- 都営地下鉄への広告掲載

アーカイブ配信

- イベント公式HPにて、2023年3月末まで一部講演内容を公開

テレビ

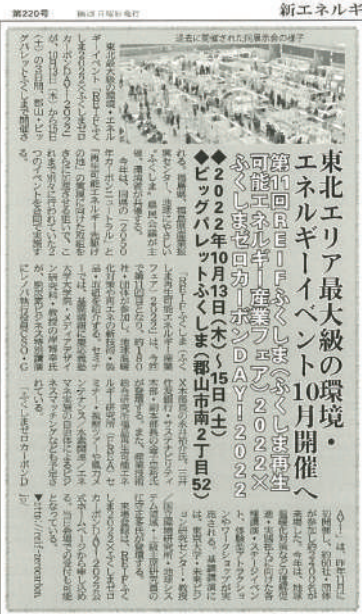
- 福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島でのCM放送

WEB広告

- Google広告・Yahoo!広告・YouTube広告

新聞・掲載記事（一部）

9月19日付 新エネルギー新聞



10月3日付 新エネルギー新聞



10月3日付 日刊工業新聞



10月31日付 新エネルギー新聞



10月8日付 福島民報・福島民友



10月13日付 福島民友



10月14日付 福島民友



10月9日付 福島民報



10月14日付 福島民報（ふくしまエコライフ絵はがき）



10月14日付 福島民報



福島中央テレビ

10月10日放送 「ゴジてれChu !」
10月14日放送 「ゴジてれChu !」

福島放送

10月13日放送 「シェア」
10月15日放送 「ウィークリー県政トピックス」

テレビユー福島放送

10月14日放送 「Nスタふくしま」
10月15日放送 「ウィークリー県政トピックス」

2023年開催予定!

第12回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア



リーフふくしま2023

2023/10/ **12**木・**13**金

会場 **ビッグパレットふくしま**

福島県郡山市南二丁目52番地

- 郡山駅から車(路線バス・タクシー)で約15分
- 東北自動車道郡山南I.Cから車で約15分

開催期間中は無料シャトルバス運行



お問い合わせ先

「ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIF ふくしま)」に関すること

福島県商工労働部次世代産業課

TEL: 024-521-8286 E-mail: saiene-sangyo@pref.fukushima.lg.jp

「ふくしまゼロカーボンDAY!」に関すること

福島県生活環境部環境共生課

TEL: 024-521-7813 E-mail: ontai@pref.fukushima.lg.jp

イベント内容・セミナー動画等はWEBサイトからご覧になれます ▶

<https://reif-zeroarbon.jp/>

